

「いのち」の大切さを考える」

～たくさんの画像を使った感動的な実話～

道徳 総合（福祉・介護）

講師 秋田 昌子氏

『トラさんが生きた！みんなも生きた！』～老いと人間といのちと向き合う～
たくさんのスライドを通して、「生きる」ことの素晴らしさを多くの人と共感する人間愛に満ちた実話

- ① いのちの大切さを理解し、自他の生命を尊重し、生きることの喜びを考える。
- ② 人間理解と敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもち家庭生活を送る。
- ③ 介護・福祉教育を通して、人と人のかかわりの大切さとその醍醐味を学ぶ。
- ④ 「自分の思い」のタイトルで事前にアンケートをとり、講話後その感想を書く。



【児童の感想文から】

- ・命の大切さを学んだ、トラさんはすごいと思った。私にもおばあさんがいるので優しくしようと思った。介護は大変だけど大切な事を学ばせられた。
- ・命は大切な一と思いました。私の家にも75歳のおばあちゃんがいるので、大切にしたいと思った
- ・トラさんは様々な困難を乗り越えていた事がきちんと感じました。介護お疲れ様でした。
- ・私もたまにおばあちゃんやおじいちゃんの事をむかつくなどと思ってしまうことがあるので今、一緒に生きている時間を大切に優しく接したい。また大人の手助けができるようになりたい。
- ・トラさんもすごくがんばったんだなと思った。自分のおばあちゃんがそうなったら最後まであきらめずにその人の命を大切にしようと思った。
- ・3日位の命といわれても長く生きられるかも知れない。自分の命はもっと大切にしようと思った。
- ・私にも昨年亡くなったひいおばあちゃんがいる、今日そのことを改めて考え反省しました。「もっとたくさんお話しすれば良かった、優しくすればよかった」と。改めて命の大切さを知り、温かさを感じました。
- ・今までの考え方がすごく変わりました。思い残しがないよう、今のうちから思い出作りをして行こうと思います。
- ・障害を持つお年寄りの人を介護するのは大変で面倒くさいだろうなと感じていたけど、今日の話聞いて人は死んだら何もできなくなってしまうので、1日1日を大切にしようと思いました。
- ・町などでお年寄りを見つけて困っていたら助けてあげたいと思った。悔いの残らないようにお年寄り過ごしたい。
- ・私のおばあちゃんは今80歳です。おばあちゃんのことを気持ち悪い、うざいと思ったがこれからはもっと優しく接してあげたいと思いました。